いしかわ労福協

第 612 号　2019年1月25日

発　行　所　　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　　西田　満明
編　集　人　　上野　貞彦
〒920-0024　　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

白米千枚田　　©石川県観光連盟

㈳石川県労働者福祉協議会
理事長　西田　満明

新年あけましておめでとうございます。

2019年が皆様にとって明るく実りの多い年となるようお祈り申し上げます。

昨年中は各自治体や、労働団体、事業団体をはじめ、関係各位の皆様にご支援・ご協力を頂き心から御礼申し上げます。

石川労福協はこの一年、ライフ・サポートセンターが中心となり、「暮らしの総合サポートセンター」として、「子育て支援事業」「福祉なんでも相談事業」「無料職業紹介事業」「会員事業団体支援事業」を中心としながら、昨年からフードバンク事業にも取り組み、働く仲間の生活と福祉の向上をめざし、活動を展開してきました。

しかし、この20年で働き方が大きく変わってしまいました。労働法制の改悪や非正規雇用の増大など雇用の劣化が進む中で、経済的格差の拡大や貧困が社会問題化しています。

このため、結婚したくてもできない人、また、子どもを産み育てることをあきらめざるを得ない人もいるなど、経済的な理由により少子化に拍車がかかっている実態を見なければなりません。

また、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を控え、医療・介護の労働環境の悪化が懸念されています。

今こそ、労福協や労働者福祉団体が培ってきた共助の輪が必要です。「連帯と相互の支え合いという協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会、人とくらし・環境に優しい福祉社会」の実現のため、関係各位の皆様のご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶とします。

石川労福協・連合石川 2019 新春の集い

谷本石川県知事

松竹
石川労働局長

山野金沢市長

近藤和也
衆議院議員

西田労福協理事長
（連合石川会長）

連合石川と石川労福協は、1月7日(月)ＡＮＡクラウンプラザホテル金沢において、「2019 新春の集い」を開催した。

新春の集いには、谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長（石川県市長会会長）をはじめとする県内6市の首長、松竹泰男石川労働局長など多くの来賓や連合石川構成団体、労働者福祉事業団体、地域ライフ･サポートセンターから代表者等 242 名が参加し、2019 年のスタートを切った。

西田満明連合石川会長（労福協理事長）が、「昨年は全国各地で地震、豪雨、台風、大雪等の災害が頻発しました。被災された皆様と、亡くなられた方々のご冥福とともにお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興に向け政府等に求めていきます。日本では大規模自然災害への備えは不可欠です。困難な立場にある方々を支え、防災への構えを早期に確立していくため、職場や地域で労働運動ならではの役割を果たしていくことが重要です。春闘では、経済の好循環を実感できない現状から自立的発展・働く仲間の底上げをめざし『月例賃金アップ』にこだわる取り組みを 2016 年から進めており、引き続き 2019 春闘も『底上げ・格差是正』を重視していきます。この取り組みが、中小・地場の労働組合で好結果を生み、全体的な底上げと非正規労働者の底上げの実現につながり、最低賃金も念願の 800 円台に到達することができました。また、働き方の見直しで職場の基盤強化、賃上げ、取引価格の改善、労働の質的向上が生産性向上への好循環を確立していかねばなりません。そして、長時間労働是正に向け 4 月 1 日に施行される法律を大企業のみならず中小企業へも浸透させなければなりません。連合は、36 協定を浸透させるため 3 月 6 日を『36（サブロク）の日』として記念日登録し、より良い働き方の実現に向けて、関係団体とも連携しながら進めます。今年は統一地方選挙・第 25 回参議院選挙

オープニング

一川政之
国民民主党県連代表

盛本芳久社民党
県連合代表

石坂修一
未来石川議員会会長

乾杯

岩淵正明連合
石川法曹団代表

中川博石川
労福協専務理事

の年です。推薦者全員の当選はもとより、広く社会から共感を得られる政治活動・労働運動に取り組み、働く仲間･生活者の立場に立った政策実現をめざします。

労福協は、戦後労働者が困窮する中で労働組合と生活協同組合がともに暮らしの安定をめざし生活者の福祉問題を解決しようと結成されました。労働運動と労働者福祉運動は車の両輪であり、労働者自主福祉運動の強化はもとより、労福協が培ってきた共助の輪を礎に『連帯と相互の支え合いが生かされる社会、ぬくもりある思いやり社会、人と暮らし・環境にやさしい福祉社会』の実現のため皆様のご理解ご協力をお願いします。」との挨拶に続き、来賓の谷本石川県知事等が祝辞を述べ、中川博労福協専務理事の乾杯発声で、杯を酌み交わし新春の集いが大いに賑わい、参加者らは新年を祝いました。

また、今年執行予定の野々市市長選挙、参議院議員選挙にかかる連合石川が推薦した立候補予定者の粟貴章氏（現職）、田辺とおる氏（新人）、統一地方選挙における連合石川推薦立候補予定者の紹介と決意表明に続き、西田連合石川会長・労福協理事長による団結ガンバロウ三唱で、実りある年となるよう一致団結し閉幕しました。

団結ガンバロウ三唱

餅つきボランティア

さわやかＵ（NPO いしかわ介護ボランティアセンター）は、昨年 12 月 8 日（土）金沢市新神田の子ども食堂「かなざわっ子 nikoniko 倶楽部」において、恒例の年末餅つきボランティアを行った。

会場は、子ども食堂を利用する家族 20 数人とさわやかＵのボランティア・役員でごった返すような賑やかさのなか、予定していた 6 臼の餅をついた。

餅つきでは、蒸したもち米が冷める前にボランティアや役員が捏ねた後、順に子ども達や保護者が力を込めて餅をついた。

お餅をついた後、つきたてのお餅に餡子やきな粉、大根おろしをつけて皆で美味しくいただき、年の瀬を乗りきり新しい年への糧とした。

これからの行事予定

（1 月 25 日現在）

開催日	曜日	行　事	会　場
2月4日	月	中部労福協 第６回代表者会議(～５日)	大津市
7日	木	全国会館協 2018年度第２回幹事会(～８日)	松山市
12日	火	労福協 第６回三役会議	フレンドパーク石川
13日	水	第49回石川県消費者大会	労済会館
19日	火	労福協 第42回研究集会	フレンドパーク石川
20日	水	第２回メーデー実行員会	〃
〃	〃	労福協 第７回理事会	〃

石川県知事
谷本　正憲

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は、本県にとって、新幹線開業効果が多方面にわたって持続し、経済状況も年間を通じて好調に推移するなど、かつてない勢いのある１年でした。

このような中迎える本年は、天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位が行われる歴史の大きな節目となる年です。

本県においても、来年の東京オリンピック・パラリンピックや、４年後の新幹線敦賀延伸など、今の勢いを持続・拡大させる千載一遇のチャンスを最大限に生かし、石川の魅力を国内外に発信していく極めて重要な年になると考えています。

好調な本県経済の持続、更なる発展につなげていくため、企業の新事業展開等の取組みを後押しするとともに、幅広い観点から人手不足対策にもしっかりと取り組み、引き続き、皆様が安心して働くことができるよう取り組んでまいります。

貴協議会におかれましては、就業等の各種相談への対応や仕事と育児の両立支援など、本県の労働者福祉の向上に多大なご尽力をいただいており、心から感謝申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

石川県市長会
会　長　山野　之義
（金沢市長）

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から県内各市の市政推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

北陸新幹線の開業４年目であった昨年もその効果が持続したことに加え、能登立国1300年をはじめ県内各地で特色のあるお祭りやイベント等が行われたことに伴い、国内外から多くの方々に県内各地を訪れていただきました。

県内各市では、これらの好環境を活かし、地域経済の活性化に向けた施策を強化していくとともに、広域での連携を図り、魅力と活力ある地域づくりに積極的に取り組んでいかなければならないと考えています。

さて、県内の雇用情勢は、有効求人倍率が全国トップクラスの水準で推移している一方、中小企業を中心に人手不足感が一段と強まっており、人材の確保が大きな課題となっております。

こうした中、私どもとしては、生産性の向上や働き方改革の実現に向けた施策を企業や関係団体の皆様と連携協力しながら進めるとともに、市長会を通して各市連携を図りながら、若者の地元就職をはじめ、女性や高齢者等の就労支援に取り組むなど、引き続き市民生活の安定に万全を期してまいります。

新しい年が、皆様方にとりまして、明るく希望に満ちた年になりますよう心からご祈念申し上げますとともに、本年も一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

輪島塗　©石川県観光連盟

石川県町長会
会　長　杉本　栄蔵

新年あけましておめでとうございます。

平成最後の輝かしい新春を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃から各町政の推進に格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も、県内各町の振興発展と住民福祉の向上に決意新たに取り組みますので、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

さて、国の取り組みとして一億総活躍社会の実現に向けた働き方改革により、本年４月から関連法が順次施行されて、労働環境の改善（長時間労働の改善、非正規社員の格差是正、女性と高齢者の就労促進等）が求められるところです。

また、想定を超える労働人口の減少と人手不足の深刻化から、改正入管法も成立し、今後は、危機直面の中小企業等の現場へ、円滑に人材が手当されることを望むものですが、外国人の受入れ拡大に伴う、地域社会の経済や生活環境等の影響についても、注意深く見守っていかねばなりません。

私たち各町においては、これら施策施行の変化並びに加速する人口減少と老齢化に対応し、地方創生と地域活力の向上を図りつつ、住みよく暮らしやすい魅力ある街づくりに向け、雇用の維持拡大や定住促進、結婚・子育て支援などの施策に力を尽くし取り組んでまいりたいと存じます。

石川労福協並びに関係各位におかれましても、これからの自立する地域行政と誰もが豊かで安心できる地域社会の実現に向け、皆様がお住いの地域活性に更なるお力添えを切にお願いするものでございます。

結びに、本年が皆様方にとって健康で幸多い一年でありますよう心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

労働者福祉中央協議会
会　長　神津　里季生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、給付型奨学金制度の本格実施や生活困窮者自立支援法の改正などで前進しました。今年度も、教育費負担の軽減、貧困･格差の解消やセーフティネットの拡充などをめざして取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

中央労福協は本年、結成70周年を迎えます。これを機に、組織の枠を超えて「福祉はひとつ」で結集した初心や、労働者福祉運動の今日的な意義を見つめ直し、次の世代へと運動を継承していきたいと思います。このため、「2020年ビジョン」の検証、見直しの組織討議を行い、次の10年に向けたビジョンづくりに取り組みます。

貧困や格差、社会の分断が深刻化し、社会の持続可能性の危機が高まる現在の状況を打開し、超少子・高齢・人口減少や技術革新など社会の変化も見据えつつ、連帯・協同を軸に据えた社会への展望を切り拓けるようなビジョンを、みんなでつくり上げていきましょう！

あばれ祭り　©石川県観光連盟

２０１９年　迎　春

㈳石川県労働者福祉協議会
理事長　西田　満明
役職員一同

北陸労働金庫
石川県本部長　柚木　光

新年明けましておめでとうございます。旧年中は北陸労働金庫の事業推進に対し、労福協をはじめ各事業団体、そして各会員組織・推進機構の皆さまより多大なご支援ご尽力を賜りました。皆さまのろうきん運動推進に心から敬意を表し厚くお礼を申し上げます。

昨年は本当に災害の多い年でした。2月の北陸を中心とした大豪雪、7月の西日本を襲った集中豪雨、7，8月の40度を超す記録的な大猛暑、9月4日上陸した台風21号は近畿地方に大きな被害と大停電をもたらし、その直後の9月6日発生した北海道胆振東部地震は最大震度7、死者41人という大災害となりました。新年のご挨拶の中ではありますが改めて昨年の災害でお亡くなりになられた皆さまのご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての皆さまへ心からお見舞い申し上げるしだいです。

さて、世界的動向に目を向ければ昨年は6月に米朝首脳会談が実現するという近年では歴史的な事態が起こり、それまで極度の緊張状態にあった東アジア情勢にとっては予断は許さないもののとりあえず喜ばしいことと言えます。一方で米中間の貿易戦争は熾烈を極め、他方で英国のEU離脱問題があり、年が改まっても世界経済は混迷の度合いを深めざるを得ない様相です。もちろん我が国の経済状況もそうした状況に大きく左右されることはいうまでもなく、北陸労働金庫としても慎重に情勢判断することが求められています。

そうした中、日銀による異次元の金融緩和・「マイナス金利」政策は今年も含めしばらく継続されることが予想され、当庫を含めすべての金融機関が疲弊してきているのが実情です。こうした厳しい状況だからこそ勤労者自らが創り育ててきた唯一の金融機関である労働金庫は今一度、会員推進機構の皆さまとともに強力なろうきん運動の展開を実践する必要があります。一昨年、昨年と連合石川そして石川労福協の仲間の皆さまが全力で展開していただいた「自主福祉運動強化」のうねりを大きな財産として今年も確固たる基盤を築いていく所存です。そのためにも今年は当庫にとって待ったなしの組織改革を断行する年になります。会員推進機構の皆さまのさらなるご理解とご支援を年初にお願いするものです。

結びに本年は「亥年」です。皆さまが勝利に向かってまっすぐ前進される年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

御陣乗太鼓　©石川県観光連盟

全労済石川推進本部
本部長　光林　邦彦

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は「全労済石川推進本部」ならびに「石川共済」の事業推進に、格段のご理解とご支援を賜わり厚く感謝を申し上げます。

昨年は全国的に災害が多い1年となりました。特に2月を中心とした「凍・雪害」、6月の「西日本豪雨」、9月の「台風21号」や「北海道胆振地震」の発生は、大きな被害をもたらしました。改めて、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今回の災害による現時点での、石川県内の全労済への被災申請件数は、「凍・雪害」では約1900件、台風21号などの台風被害では、約620件となりました事をご報告いたします。

このような中、私たち「全労済石川推進本部」は、被災された組合員の皆様に一刻も早く「共済金」をお届けするために、全力で現場調査などの対応にあたってまいりました。災害はあってはならないものの、やはり発生することは現実が証明しています。組合員・生活者の皆様には万が一に備え、全労済の「住まいる共済（火災・自然災害）」をご活用頂き、より「安全・安心」の確保をして頂く事を、ここにお願いするものです。

全労済は、おかげさまで一昨年に「創立60周年」を迎えました。これを一つの節目として、新たな「中期経営政策)）をスタートさせ、「こくみん共済Coop」と言う新しいブランド名（愛称）も、昨年発表させて頂きました。これまで組合員、協力団体の皆様と共に歩んで来た60年の歴史を再認識し、より魅力的な「保障の生協」となるべく、時代やニーズに応じて改革も行いながら、役・職員一同、今後も全力で取り組んでまいります。

一昨年来より、連合石川そして石川労福協には、「自主福祉運動」の強化に向けて取り組んで頂いており、心から感謝を申し上げます。そして、それぞれの認識を「共有化」する中では、「職域・地域」における「労働者・生活者」の生活環境は、より厳しくなっている現状があり、暮らし全般にかかわる支援（サポート）事業の重要性は、これからますます高まると思われます。そのことから言えば、職域・地域で「自主福祉運動」の一翼を担う、全労済の役割は大きいと認識しております。

本年度は「住まいる共済」、「団体生命共済」、「マイカー共済」、「自賠責共済」、「こくみん共済」を重点共済と位置づけ取り組んでおります。加えて、「離・退職者」対策、「新入組合員・若年層」対策を進め、連合・労福協・ライフサポートセンター、地域協力員の皆様との連携をより図りながら、北陸労働金庫、指定整備工場、各会員生協における「共済代理店」と共に、推進活動を強化してまいります。組合員・協力団体の皆様の絶大なるご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって「安全」で、良い1年になります事をご祈念申し上げ、新年のご挨拶にさせて頂きます。

㈠財)石川県労働者信用基金協会
理事長　宮下　亮

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は石川県労働者信用基金協会が取り組む諸事業に対しまして、格段のご理解とご協力を賜り、心より厚く感謝と御礼を申し上げます。

当協会は昨年7月に設立50周年の大きな節目を迎えました。私たちを取り巻く環境は厳しく、日銀のマイナス金利政策の影響や金融業界での競合など長期的にこの状況は続くものと考えています。そのような中で50周年を迎え、業界のみならず先々を考えた上での事業の方向性を考えなければならないと思っています。今後とも北陸労働金庫や日本労信協、全国労信連など上部・関係団体との連携を密にし、取り組んでいきます。

さて、当協会の2018年度上期事業概況としては、厳しい環境のもとの結果でありました。新規保証実行では無担保保証が対前年同期比438,240千円増加しましたが、有担保保証は対前年同期比573,680千円減少と全体では低調な結果となりました。保証債務残高でも同様な状況にあり、無担保保証が期首比164,802千円と増加しましたが、有担保保証では期首比225,198千円の減少となり、合計で期首比60,396千円減少の60,840,085千円となりました。代位弁済は対前年同期比で6件、10,363千円の増加となりました。代位弁済理由では自己破産・民事再生・調停が20件と前年より5件増加し、全体の74%を占めています。

この間、北陸労働金庫石川県本部や各営業店はもとより、関係部門とも連絡を取り合っていますが、今後も様々な面でさらなる連携強化をはかり、北陸労働金庫の優良保証機関として一層の活性化につなぎ、事業目標を達成するとともに安心・安定した事業運営に取り組みます。

本年の干支は亥年です。本来ならば亥年にちなみ駆け巡る年にしたいと言いたいところですが、業界全体の厳しい環境はまだまだ続く状況です。こんな時こそ地道で着実な事業運営に取り組んでいく所存です。皆さま方にとりましてご健勝でご活躍の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

石川県生活協同組合連合会
会長理事　長谷川　隆史

明けましておめでとうございます。去る6月に会長理事を横山より引き継ぎました。旧年中は当会に多大なご支援ご協力を賜り、横山前会長ともども厚く御礼申し上げます。

この間当会では、石川労福協をはじめとして県内諸団体や多くの皆様方と協力しNPO法人消費者支援ネットワークいしかわを支え、また（仮称）フードバンク・ネット設立の準備にあたってきました。引き続き皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

国連が定めた2030年までにめざすべき17の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて「誰一人取り残さない」ために、地域の行政や諸団体とともに当会ができることを着実に実践していくことが大切と考えています。

昨年4月に一般社団法人　日本協同組合連携機構（JCA）が設立されました。これはJA中央会、全農、漁連、森連などとともに、ろうきん協会、全労済、日本生協連が手を組んだ組織です。今後、県内でも協同組合の連携が強まるように、ご理解ご協力いただけるようお願い申し上げます。

珠洲焼　　©石川県観光連盟

一般財団法人 石川県労働者信用基金協会
金沢市西念3丁目3番5号
TEL（076）261－4347

恭賀新年

石川県生活協同組合連合会
CO-OP
金沢市古府2丁目189番
コープいしかわ古府センター2F
TEL（076）259－5962

石川県勤労者体育協会
会　長　髙　　芳晴

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新しい亥年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃、本協会の事業推進に、協会役員はじめ県内自治体、各競技団体、企業、労働団体の皆様方に、温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。

さて、今年は、東京オリンピックの前年でもあり、テニス・卓球・バドミントンなど、多くの競技で日本選手の活躍が大いに期待されています。また、日本で開催されるラクビーワールドカップ2019にも大きな関心が集まっています。

本協会では、日本で唯一の勤労者のスポーツ団体という特徴を活かし、関係団体と連携を深め、職域や地域に生涯スポーツの普及、推進を図るとともに、誰でも気軽に参加できる大会の開催を通して、健康づくりにも貢献して参ります。

結びになりますが、重ねて、事業展開にあたり、関係団体のご支援とご協力をお願いいたしますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

石川県勤労者文化協会
会　長　大樋 陶冶斎

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。労働者福祉協議会の皆様をはじめ、連合石川、各事業団体の皆様には日頃から勤労者文化協会へのご厚情に感謝申し上げます。

おかげさまで昨年は早春書画・生花展を皮切りに、写真サロン展、絵画・陶芸展、そして勤労者美術展を盛大に開催することができました。あらためて御礼申し上げます。とりわけ第68回を迎えた勤労者美術展は、アマチュア美術愛好家の皆様にとっての登竜門としてしっかり定着していることが伺われます。昨年は勤美展開幕初日の夕方に勤文協50周年の式典も盛大に開催することができました。あらためてこれからの勤文協活動の益々の隆盛を心に誓ったところです。

勤文協は、生涯福祉の向上を目指した労福協事業の一環として、地域貢献を意識しつつ、各種展示会を中心とした芸術・文化の向上に寄与してまいりました。そのことを通じて文化立県を標榜する石川県の正に底辺をしっかりと固めてきたものと自負しております。これからも石川県内の芸術・文化の裾野を広げて行くために精進する所存です。

本年も勤文協にご支援ご協力を賜りますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げて新年のご挨拶と致します。

石川県勤労者文化協会設立50周年記念

入場無料

第49回石川県勤労者

早春書画・生花展

開催日　2019年1月31日(木)～2月3日(日)
午前10時～午後6時(最終日、正午まで)

会　場　しいのき迎賓館 ギャラリーA及びB
※特別展　2月9日(土)～2月11日(月・祝)
野々市市市情報交流館カメリア
(野々市市役所3Fギャラリー)

主　催　石川県勤労者文化協会
後　援　石川県労働者福祉協議会、北國新聞社
北陸放送、野々市市

ＮＰＯ法人
いしかわ介護ボランティアセンター
代表理事　澤　信俊

新年あけましておめでとうございます。

「内平外成（内平かに外成る）」（『史記』五帝本紀）に由来する平成は、本年４月30日をもって終了の予定であります。1989年（平成元年１月８日に改元）から30年と113日間にわたる平成を振り返ると、バブル経済とその崩壊、ベルリンの壁崩壊、ソビエト連邦崩壊、55年体制の崩壊、アメリカ一極体制の到来、団塊ジュニア世代の就職氷河期、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、サラリーマン主流社会（企業社会＝終身雇用・年功序列・護送船団方式）の崩壊、デフレスパイラル開始で20世紀が幕を閉じました。

新しい21世紀がはじまった平成13年には、アメリカ同時多発テロ事件で幕が開き、聖域なき構造改革（小泉内閣）、いざなみ景気、リーマンショック、民社国連立政権の誕生、世界各国の政権交代、東日本大震災、福島第一原子力発電所事故、自由民主党政権復帰（第２次安倍内閣）、アベノミクス、ＥＵ統合の危機、アメリカファースト、一国主義の台頭、中国の一帯一路政策、森友・加計問題、外国人労働者問題など国内外に数多くの課題が山積みです。

このような諸々の課題の根本原因は、資本主義が誕生した時からもつ「成長のための不均等発展」にあります。経済活動の不均等発展が富の分配の不公平をもたらし、貧困を生み出します。わが国のような資本主義経済が成熟した国家の役割は、経済活動は秩序ある市場原理にゆだね、教育・福祉・医療・環境分野は市場原理にゆだねるのではなく、国民生活の持続可能な幸福度向上のために計画的に取り組まなければならない責任があると思います。

私たちもボランティア活動を通して、これらを実現するための社会的責任を担いたいと思います。

NPO法人 いしかわ介護ボランティアセンター
さわやかU（愛称）
金沢市西念１丁目12番22号（労済会館２F）
電話（076）222－3337

日本労働組合総連合会石川県連合会
会　長　西田　満明

新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げますとともに、日頃からの連合運動に対するご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

労働運動は、より良い職場・社会の構築に向けた変革のまさに原動力です。連合はその先頭に立ち、働く者、生活者の立場に立った政策を実現する力を磨くとともに、組織力を維持・強化し、運動の推進力を高め、すべての働く仲間のために、連合石川結成30周年を機に、次の飛躍に向けた「確かな一歩」を着実に歩む一年としなければなりません。

私たちは、「働くことを軸とする安心社会」「7万連合石川」の実現をめざし、2019春季生活闘争を勝利し、統一地方選挙と参議院選挙が重なる12年に一度の極めて重要な年での闘いを、連合石川の「政策実現」に向け、全組合員が一丸となって取り組むことにより、勝利をもぎ取り、政治活動を強化していく所存です。

連合運動への理解と共感の輪を広げるべく、それぞれの立場で強く発信・行動をしていきましょう。

本年も、石川労福協をはじめ、各事業団体の益々のご活躍を祈念申し上げます。

連合なんでも労働相談ダイヤル
フリーダイヤル　い こう よ れん ごう に
0120-154-052

本年も、私ども各地域ライフ・サポートセンターにご支援ご協力をいただきますようお願いします。

珠洲・能登地域ＬＳＣ	会長	谷　良治
輪島・穴水地域ＬＳＣ	会長	赤田　実
七尾・鹿島地域ＬＳＣ	会長	角三　外弘
羽咋地域ＬＳＣ	会長	瑞山　祐司
河北地域ＬＳＣ	会長	宮下　亮
金沢地域ＬＳＣ	会長	綿　征一
白山・野々市地域ＬＳＣ	会長	柚木　茂二
小松・能美地域ＬＳＣ	会長	古田　政敏
加賀地域ＬＳＣ	会長	山本　和志

食とみどり、水を守るいしかわネットワーク

第 13 回定期総会

連合石川、労福協などで構成する「食とみどり、水を守るいしかわネットワーク」は、12 月 25 日(火)フレンドパーク石川において第 13 回定期総会を開催した。

西田満明代表は、「賛同する皆さんのご協力で、海外で飢餓に苦しむ子ども等への支援活動として、稲作体験を通じた支援米の提供を中心に、里海里山の取り組みも合わせ実施することができた。特に今年は、海外のみならず地元の方への支援を目的に、県内の施設等へ労福協が取り組むフードバンク事業を通じて提供することができた。活動の継続に皆さんのご理解ご協力をお願いします。」と挨拶し、亀喜正事務局長が報告・提案した議題全てを満場一致で承認し、新年度への取り組みとした。

<ろうきん>
教育ローン

奨学金借換専用プラン

生活応援バンク ろうきん

【無担保】
【固定金利】 年 0.5%

※別途保証料 年0.4%が必要となります

■ご融資額は、最高1，500万円　■ご返済期間は、最長20年!!

お使い道　奨学金の借換資金
※対象となる奨学金は、日本学生支援機構・自治体・学校法人・財団法人等の貸与奨学金となります。
詳しくは、<ろうきん>営業店までお問い合わせください。

ご返済方法　毎月返済または毎月返済・ボーナス返済の併用

担保・保証　担保は不要です。ろうきん指定の保証機関の保証が必要です。

「奨学金」のご返済でお悩みではないですか?

「奨学金」の返済額を見直したい・・・・
◎返済期間を見直すことで、毎月の返済額を軽減！
ボーナス併用返済もご利用いただけます。
※借換えにより、総返済額が増加するケースがございます。

「奨学金」の金利を見直したい・・・・
◎現在返済中の「奨学金」の金利は？
ろうきん「教育ローン」より高い場合は、ろうきんへ相談！

子どもの「奨学金」を借換えしてあげたい・・・・
◎本人および2親等以内のご親族の方の「奨学金」借換えにご利用いただけます。
お子さまの経済的負担が軽減できます！

◆上記金利は、2019年1月10日現在適用中です。◆お申し込みいただける方は、原則、勤続1年以上で最終ご返済時の年齢が満76歳未満の勤労者に限ります。◆無担保融資のお一人様の総借入限度額は1,500万円以内となります。◆返済条件を変更された場合、別途手数料が必要となります。
◆審査の結果、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。◆詳しくは、最寄りの<ろうきん>までお問い合わせください。

ご相談は、最寄りの北陸労働金庫・営業店・ローンセンターまでお問い合わせください。　北陸ろうきん　検索

ZENROSAI NEWS

全労済
公式キャラクター
ピットくん

あらゆる暮らしの
シーンをしっかりガード。

全労済の住まいる共済　火災共済・自然災害共済　こくみん共済
総合医療共済　せいめい共済　マイカー共済
自賠責共済　団体生命共済　交通災害共済
新セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会